

完了後の評価個表

整理番号	森7-1
------	------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	京都府
地区名	南丹市	事業実施主体	京都府、南丹市 美山町森林組合、園部町森林組合、 八木町森林組合、日吉町森林組合
関係市町村	南丹市（旧美山町、旧園部町、旧八木町、旧日吉町）	管理主体	京都府、南丹市、個人
事業実施期間	H15～H19（5年間）	完了後経過年数	5年

<p>事業の概要・目的</p>	<p>① 位置等 当市は、京都府の中部、丹波山系の南側に位置し、大阪湾に注ぐ一級河川淀川と日本海に注ぐ由良川上流域で、南側と東側は京都市、亀岡市及び滋賀県高島市、北側は綾部市及び福井県おおい町、西側は京丹波町、兵庫県篠山市、大阪府能勢町に挟まれた京都府有数の林業地帯である。</p> <p>② 森林の状況 当市の総面積は61,631ha、そのうち森林面積は53,808haで、市の総面積の87%を占めている。民有林面積は53,749haで、そのうちスギを主体とした人工林の面積は21,751haであり、人工林率は40%となっている。 また、保安林として、水源涵養保安林14,779ha、土砂流出防備保安林4,407ha等が指定されており、適正な整備による森林の多面的機能の高度発揮が期待されている。</p> <p>③ 整備する目的・意義 当市においても、これまでに植林された人工林について森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・間伐等が必要な段階にある。森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する多面的機能の高度発揮に対する期待が高まっているところである。 近年、当市では森林施業を効率的に実施するための森林管理道及び森林作業道等の路網の整備を積極的に取り組んでおり、適切な森林施業の推進を図っている。 継続して、林業生産基盤の整備や森林の多面的機能の高度発揮等を目的として、森林整備を実施するとともに、その手段となる施業に必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、森林整備を促進することを目的に、森林整備と併せて幹線林道、支線林道及び森林作業道の開設と延伸に取り組んでいる。</p> <p>(事業概要)</p> <p>森林整備 植栽 52.3ha、下刈 670.1ha、除・間伐 2,219.2ha、 雪起こし 268.6ha、枝打ち 752.8ha、機能増進保育 44.1ha、 天然林改良 31.0ha、受光伐 1.0ha、整理伐 0.7ha、 防護柵設置 29,048m、熊剥ぎ防止テープ巻き 468.0ha、 忌避剤散布 1.6ha</p> <p>路網整備 作業路 9,517m</p> <p>森林管理道整備</p> <p>① <small>おくやまむかいやま</small> 奥山向 山線 車道幅員 3.0m 開設延長 2,800m 利用区域面積 183ha</p> <p>② <small>はらふかみ</small> 原深見線 車道幅員 4.0m 開設延長 843m 利用区域面積 517ha</p> <p>総事業費 2,166,222千円 (当初総事業費 4,817,790千円)</p>
-----------------	--

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>平成25年度時点における費用対効果分析は以下のとおりである。 なお、市町合併による事業内容の見直し、低コスト化及び林道事業の単費（起債）による実施等に伴い、事業採択時比べ総事業費・総費用・総便益が減少となった。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td>12,357,416千円</td> <td>（事業採択時</td> <td>22,464,397千円）</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td>4,226,723千円</td> <td>（事業採択時</td> <td>8,048,118千円）</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td>2.92</td> <td>（事業採択時</td> <td>2.79）</td> </tr> </table>	総便益（B）	12,357,416千円	（事業採択時	22,464,397千円）	総費用（C）	4,226,723千円	（事業採択時	8,048,118千円）	分析結果（B/C）	2.92	（事業採択時	2.79）
総便益（B）	12,357,416千円	（事業採択時	22,464,397千円）										
総費用（C）	4,226,723千円	（事業採択時	8,048,118千円）										
分析結果（B/C）	2.92	（事業採択時	2.79）										
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<p>① 除間伐等の計画的な実施により、森林資源が充実してきている。</p> <p>② 森林管理道のみならず森林作業道の開設により、自動車による森林へのアクセスが容易となった。</p> <p>③ 森林管理道の開設により、利用区域内の間伐・保育作業及び適期を迎えた主伐がなされ、整備前はほとんど実施されていなかったが、整備後は、5年間で約20haの間伐が実施されるなど森林施策が活性化された。</p>												
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>整備を行った森林については、森林所有者や委託を受けた森林組合等適正な管理を継続しており、特に新たに植栽を行った森林については、その後も下刈り等の保育施策を適切に実施している。</p> <p>奥山向山線は市で定めた管理規則に基づき適切に管理され、地元住民による年2回の草刈りや適宜側溝清掃等が行われている。また、府営で整備した原深見線は、市に管理移管するまで府において適切に管理されている。</p>												
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により林内の明るい単層林が整備され、下草植生の繁茂など景観とともに、森林の多面的機能の向上に寄与している。</p> <p>森林組合による伐採や植栽、特に除間伐等の実施面積が森林管理道前と比べ50%以上増加するなど、森林施策の実施に対する意欲が向上してきている。</p> <p>森林管理道の整備において、自然環境に配慮した工事を進めた結果、野生動植物の生息・生育環境の悪化、溪流の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>												
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>路網整備により林業労働の軽減、森林施策コストの低減が図られ、間伐など森林施策の実施面積が開設前に比べ増加してきたことから、木材供給源として一層高まってきている。</p> <p>開設された森林管理道、森林作業道は森林整備のみならず、マツタケ採取（特産物の生産）などの経済活動に利用され、地域の森林に対する気持ちが深まりつつある。</p>												
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>木材価格の低迷等林業を取り巻く状況は厳しいが、路網整備と機械化の推進による低コスト化により、森林所有者に収益を還元する取組が広まっており、森林施策の意欲は徐々に増進している。</p> <p>今後も、地域全体として、積極的に森林施策を推進する必要があることから、森林経営計画の策定スピードを加速化させていく必要がある。</p> <p>（地元の意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林管理道等路網の開設により、路網周辺の森林へのアクセスが容易になり、間伐等の森林整備事業の実施量が増大した。（京都府） ・ 森林管理道等路網の整備後は、森林所有者も自ら気軽に自動車等で森林を管理することが可能になったとともに、森林災害等の早期発見にも寄与している。（南丹市） 												
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地元の意見に見られるとおり、当事業は、森林整備の推進、特に間伐の実施面積を増大させた。 森林整備及び基盤となる路網の整備、特に間伐材を搬出するために、森林整備と一体的に森林作業道が積極的に開設されている。 以上のことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備及び林道、森林作業道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工程・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め、総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道、森林作業道の整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減された。また、次回の間伐においても、既存の路網を利用して、さらなる事業効果の発現が見込まれている。 林業従事者の労働軽減にも大きく寄与している。 以上のことから、事業の有効性が認められる。 												

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

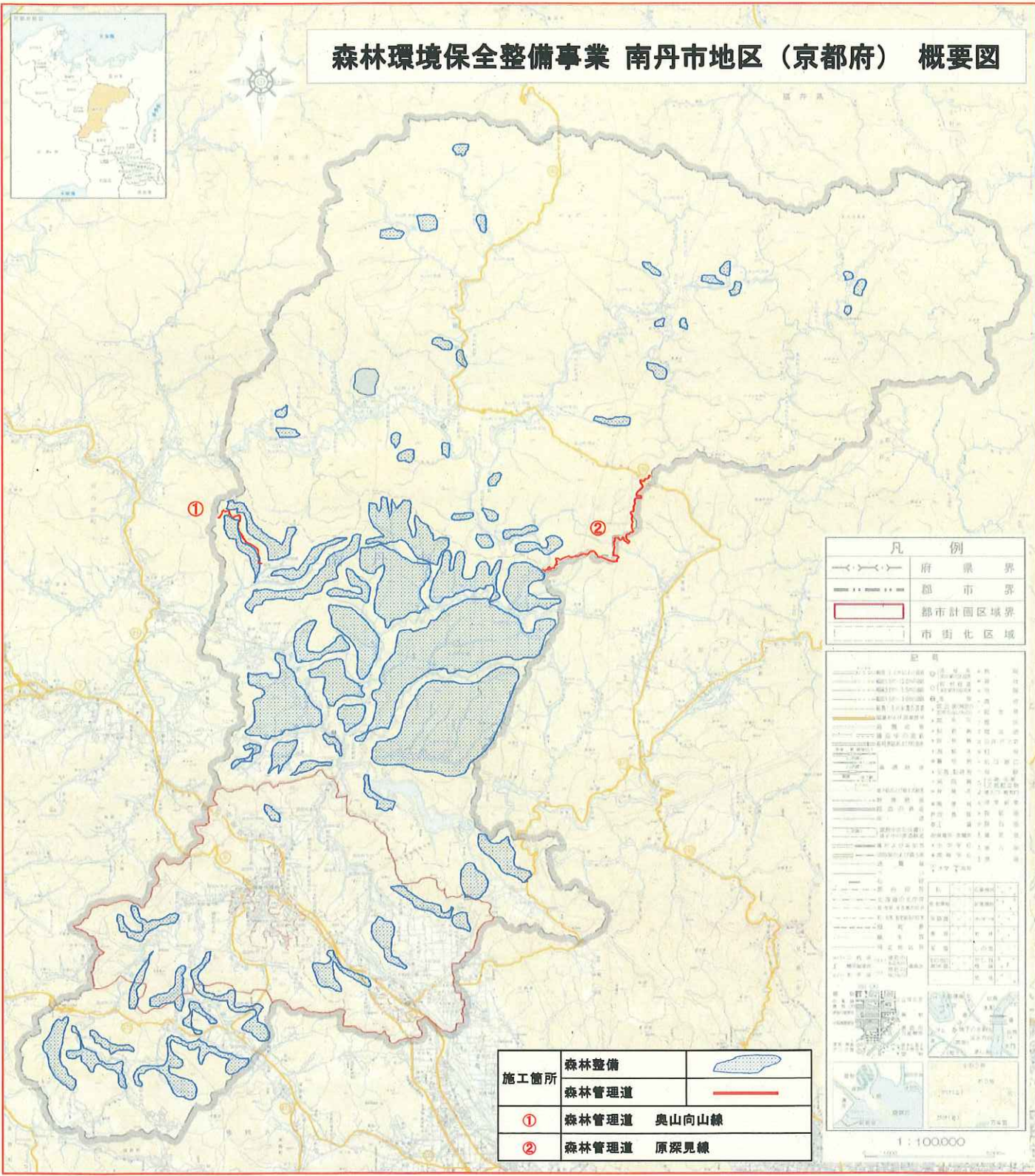
都道府県名:京都府

地域(地区)名:南丹市^{なんたんし}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,200,506	
	流域貯水便益	724,121	
	水質浄化便益	1,907,027	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,033,400	
	土砂崩壊防止便益	58,927	
環境保全便益	炭素固定便益	610,525	
木材生産便益	木材生産等経費縮減便益	15,304	
	木材利用増進便益	1,527	
	木材生産確保・増進便益	1,835,788	
森林整備経費等縮減便益	森林管理等経費縮減便益	19,029	
	森林整備促進便益	949,404	
その他の便益	ボランティア誘発便益	1,858	
総 便 益 (B)		12,357,416	
総 費 用 (C)		4,226,723	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,357,416}{4,226,723} = 2.92$		

森林環境保全整備事業 南丹市地区（京都府） 概要図



凡 例

	府 界
	市 界
	都市計画区域界
	市街化区域

記号

	国道	主要地方道	一般地方道
	国鉄	私鉄	有軌電車
	河川	湖沼	池
	森林	公園	緑地
	市庁舎	学校	病院
	標高	等高線	傾斜

施工箇所	森林整備	
	森林管理道	
①	森林管理道 奥山向山線	
②	森林管理道 原深見線	

1 : 100,000